



2017年 1月25日 水曜日 (平成29年)

きょうは何の日  
初天神、北海道・旭川で氷点下41.0度の日本最低気温を記録(1902年)

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市北区古野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

はんと 飯能信用金庫  
ひと、まち、ぎずな大切に。  
飯能市栄町24番地9 042-972-8111(代)  
URL http://www.hanno-shinkin.jp

7 高野連表彰に岡崎ら  
県高校野球連盟は24日、全国高校野球選手権埼玉大会優秀選手表彰を行い、オリックスにドラフト3位で入団した花咲徳栄の岡崎大輔遊撃手ら17人が記念の盾を受け取った。

10 左手の演奏家が講演  
伊奈町の南小学校で、脳出血で右半身が不自由になり、「左手のピアニスト」として活躍している館野泉さんの演奏と講演が行われた。児童に目標を持つことの大切さを訴えた。

# 介護復職で研修ツアー

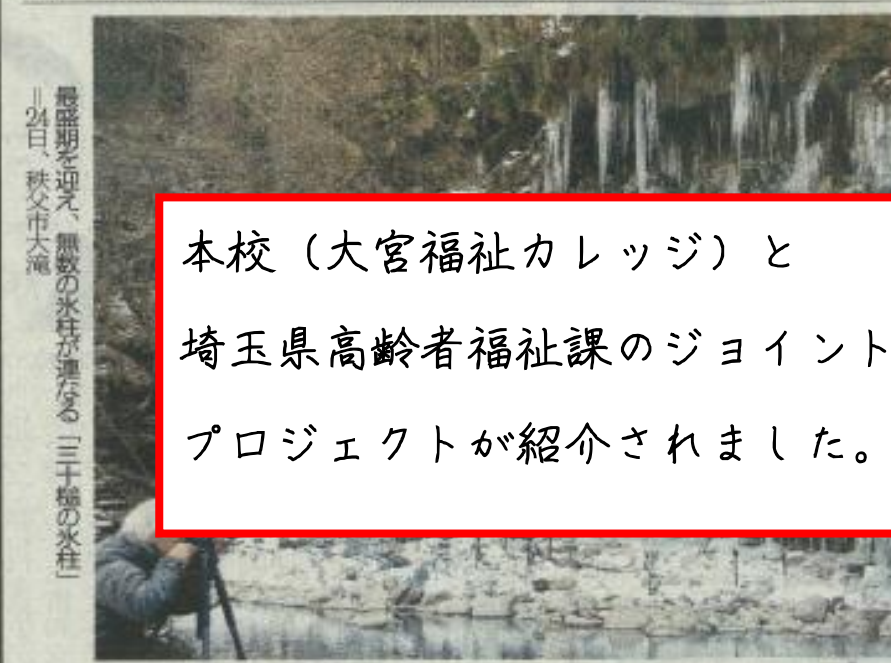
## 県、準備金貸し付けも

県は急速に進む高齢化を背景に介護人材を確保しようと、職を離れている介護職員の復職を支援するため、高齢者施設などを見学するバスツアーや学び直し研修を25日から順次実施する。また、昨年9月から介護職への復職者に準備金を最大20万円、無利子で貸し付けている。県は「介護はやりがいのある魅力的な仕事だということを再認識してもらいたい」と人材の掘り起こしを期待する。(坂本圭)

## 高齢化で人材不足懸念

県高齢者福祉課によると、県内で勤務している介護職員は、厚生労働省の調査で推計7万7233人(2013年度)。一方、職場の人間関係や事業所との理念の違いに悩んで介護職を離れる職員も多い。介護職員の中心となる介護福祉士の資格がある人のうち、実際に勤務しているのは8割弱にとどまっている。現在、県内の施設はいずれも職員数の要件は満たされている。しかし、厚生労働省の介護人材の需給推計(15年)によると、行政の施策効果を見込まず現状のまま推移した場合、25年には約12万人の需要に対し供給は約9万人となる。

大宮福祉カレッジ大宮校は、25日・2月1日(申し込み締め切り)と、2月20・27日のそれぞれ2日間開講。最新の介護保険制度やコミュニケーション方法、技術演習で口腔ケアや衣服の着脱なども学ぶ。定員は各クラス15人。ともに参加費無料。再就職準備金は、介護について学び直しするための講習会費用や転居費、必要な道具の購入費などが対象で、最大20万円を無利子で貸し付けている。県内の事業所に2年間勤務すると返金が全額免除される。年間500人への貸し付けを見込んでいる。



最盛期を迎え、無数の水柱が連なる「三十槌の水柱」  
24日、秩父市大滝

本校(大宮福祉カレッジ)と埼玉県高齢者福祉課のジョイントプロジェクトが紹介されました。

また、県は復職支援だけでなく、新任職員の定着も図っている。人間関係などに悩んだときに相談できる交流イベントや研修も開催。身体的な負担を減らして離職を防止しようと、介護ロボットを導入する事業所に対して助成を行っている。バスツアーと研修の問い合わせは、シグマスタッフ(☎048-782-5173)、貸し付けの要件などについては県社会福祉協議会(☎048-822-1192)へ。

県内15年度 献血 服薬  
献血の普及啓発を話し合う県献血推進協議会(会長・新藤健児医師会常任理事)が24日、さいたま市浦和区で開かれ、2015年度の県内の献血者が3年ぶりに増加したと報告された。それでも本年度の血液確保量は目標の7割に満たず、服薬など献血をためらう中高年への啓発などをめざした17年度の献血推進計画を策定した。回会は、市町村長会や医師会、県高等学校校長協会、日本主

秩父 秩父おね  
厳しい冷え込みが続く中、秩父市大滝にある冬の名勝「三十槌(みそつち)の水柱(みづのしらべ)」が最盛期を迎え、岩肌にしみ出る湧き水が作り上げる、水のオブジェが来場者たちを魅了させている。小鹿野町河原沢の「尾ノ内百景水柱」と横瀬町芦ヶ久保の「あしがくぼの水柱」と並び、「秩父三大水柱」と称される。3カ所中唯一、人の手を加えずに自然の寒さだけでできた水柱が観賞できる。秩父観光協会大滝支部によると、水柱の高さは最大で約8尺、幅は約30尺。寒波の影響で昨年より大きいという。公開は2月19日までの予定。同日までライトアップが行われる(平日)。

寒さが栄養最大8割に 三十槌の水柱が最盛期

日	放射線	曇
午後	10.5	曇
午前	10.5	曇
午後	10.5	曇
午前	10.5	曇
午後	10.5	曇
午前	10.5	曇

# 米TPPから永久離脱

## トランプ氏「自動車市場は不公平」 大統領令

【ワシントン共同】トランプ米大統領は24日、環太平洋連携協定(TPP)から「永久に離脱する」として大統領令に署名した。署名に先立つ

会合で日本の自動車市場を「不公平」と批判し是正を迫る考えを表明した。米政府は自動車輸出の促進や貿易赤字削減に向けた2国間協議を日本に呼び掛ける方向で検討に入り、自動車を中心に日米貿易摩擦が再燃する恐れが出てきた。市場開放を巡りトランプ氏が厳しい対日要求を突きつける懸念は拭えず、安倍政権は対応に苦慮しそつた。トランプ氏はホワイトハウスの通商協定締結を目指す。日米を中核とするTPPは崩壊し、協定は発効しない。TPPを成長戦略の柱に据え、トランプ氏が翻意を促すと主張してきた安倍晋三首相にとって大きな打撃となる。

労働組合の代表と面会したトランプ氏は「TPPを公式に終わらせた」と述べ、大統領令の内容は「非常に強力」と強調した。2月にも早送まれる安倍首相との会談で、2国間協定を打診したり、日本への自動車輸出促進や日本との間の貿易赤字削減に向けた協議を呼び掛けたりする可能性がある。

署名前に企業経営者と会ったトランプ氏は、不公正貿易の例として日本に言及。日本は米国で多くの自動車を販売しているのに対し「日本が